

生命理工学専攻	研究分野	植物分子機能学	Lab. ID BS20
研究室Webサイト	https://nishiuchitakumi.com/		
研究課題の概要			
<p>植物病原性糸状菌のムギ類赤かび病菌がコムギ、オオムギ、トウモロコシ等に感染すると、作物に本菌の産生するトリコテセン系かび毒が蓄積します。カビ毒の混入した穀物を人や家畜が食べると、食中毒や免疫抑制などの健康被害を及ぼすことから、世界的に問題になっています。我々は、赤かび病菌に罹病性のシロイヌナズナ、コムギやオオムギを用いて、赤かび病に罹らない植物の作出を目指し、植物の赤かび病抵抗性の分子メカニズムについて研究を行っています。また、赤かび病の防除に有効な天然物を探索し、特に植物免疫の活性化する物質を同定し、それらを活用することで化学合成の殺菌性農薬に変わる安全な防除技術の開発へとつなげる研究を進めています。</p>			
博士前期課程/後期課程院生の指導方針、具体的なカリキュラム、研究室での活動等			
<p>自身の研究と関連する学術論文を読み、自身の研究を客観的に理解するように努めましょう。研究の進捗状況について、1か月を単位として自己点検するとともに、指定されたゼミの時間に実験結果の報告します。また、他大学の大学院生や研究者と交流を深めるため、積極的にポスター発表や口頭発表等の学会発表を行います。博士前期課程の大学院生は修了までに国内の全国規模の学会で1回以上発表することを目標とします。博士後期課程の大学院生は博士論文をまとめるまでに国際学会で1回以上発表することを目標とします。</p>			
研究室生活の紹介等			
<p>研究室には、多様なテーマで研究しているラボのメンバーと積極的に交流し、自分自身の研究も理解してもらえるように努めましょう。</p>			
教員からのメッセージ			
<p> </p>			
研究室連絡先メールアドレス	Takumi Nishiuchi (tnish9 at staff)		